

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	教育委員会		
	課名	生涯学習課		
	係名	生涯学習係		
	記入者		電話(内線)	633

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続		(2) 事務事業 の名称 成人式典開催事業				(3) 事業の 優先度		B		
(4) 総合計画での位置づけ							(6) 事業主体		市		
① 事業の区分	主要事業						(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	一般事業費(ソフト事業)		
② 施策コード	42303		(総合計画掲載ページ 121 ページ)					会計区分	一般会計		
基本目標(政策)	4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)							財源区分	市単独		
基本施策	4-2生涯を通じてともに学べる環境づくり(生涯学習・地域教育・青少年の健全育成)							予算科目	款 10 項 5 目 1		
施策	③青少年の健全育							予算書上の	成人式典開催事業費		
施策内容	3成人式典開催事業の支援							事業名称	(予算書 168 ページに掲載)		
(5) 事業期間	開始	昭和	29	年	4	月から	(8) 事務分類		自治事務		
	終了			年		月まで (力年)	根拠法令		慣例式典(通過儀礼)		

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象(だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿(意図・どのような状態になるのか)
当市在住及び出身の新成人者	新成人自身で成人式典を企画・運営することを通して、成人としての自覚、郷土への愛着や関心を深めさせる。 また、人生において大きな節目となる成人式への参加を通して、これまでの自分を見つめ直し、将来に対する決意を新たにすきっかけの場となるよう、市としてサポートしていく。
(2) 手段(事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
成人式典の新成人のつどい 新成人より成人式典実行委員を選出し、実行委員会を組織する。 数回の全体会議を設け、その中で成人式典の役割分担や新成人のつどいを企画し、式典当日の運営を行う。	成人式典は、国民の祝日に関する法律の施行を契機に、各自治体で行われている。本市での直近3年の平均出席率は76%である。
(5) 事業をとりまく環境の変化(社会環境、市民ニーズ等)や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	

3. 事業コスト

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映		
実施計画								
● 予算内訳		実績額（千円）		当初予算額（千円）		計画額・見込額（千円）		
事業内容		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度		
（１）事務事業費	事業費	477	534					
	需用費	140	146					
	役務費	45	49					
	委託料	637	630					
	使用料及び賃借料	211	230					
	合計	1,510	1,589					
	財源	国庫支出金（千円）						
県支出金（千円）								
地方債（千円）								
その他特定財源（千円）								
一般財源（千円）		1,510	1,589					
合計（千円）		1,510	1,589					
補助・起債制度名								

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標の名称			単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）								
指標名	実行委員会開催回数(全体会議のみ)	目標値	回		7	7	7	7
		実績(見込)値		7	7			
		目標値						
		実績(見込)値						
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）								
指標名	成人式典出席者数	目標値	人		360	360	365	370
		実績(見込)値		369	360	360	365	370
		達成率		99.7 %	97.3 %			
	成人式典出席率	目標値	%		77	78	79	80
		実績(見込)値		75	77	78	79	80
		達成率		93.8 %	96.3 %			

5. 事業評価

(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。

(2) 項目別評価

評価項目・客観的評価				理由
必要性	事業の必要性	B	どちらとも言えない	
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	成人教育（青年教育）を目的とした観点から見れば、行政としての関与は必要と思われる。
	手段の妥当性	A	妥当である	県内他市町村においても、新成人者で実行委員会を組織し、進めるケースが多い。
効率性	コスト効率 人員効率	B	どちらとも言えない	
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	新成人の約7～8割は出席している。
有効性	成果の向上	B	どちらとも言えない	
進捗度	事業の進捗	B	どちらとも言えない	

(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。

式典内でのマナーは向上しているように見受けられるが、式典終了後の会場外でのマナーの低下が課題となっている。また、実行委員会組織による企画・運営にあたり、前年度の様子を参考にして進めていくため、どうしても前年に近い内容となってしまう。実行委員は年代ごとで考え方も変わってくるため、前年にとらわれず、その年代ごとの実行委員の考えを引き出せるような運営をしていくことが課題である。

(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？

式典内のマナー向上とともに、式典終了後の会場外マナーについても、各実行委員を主導として新成人者に周知を促す。実行委員ひとりひとりが責任と自覚を持って成人式典を運営してもらえるように、事務局が主体とならないよう注意しながら、ひとりひとりの個性が発揮できるよう運営の手助けをしていきたい。

6. 事業の方向性判断

評価主体	28年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	改善・改革しながら継続（成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減）	注）記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	改善・改革しながら継続（成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減）	例年実施している第2部のアトラクションについては、実施方法について再検討をしていく。
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う		上記評価のとおり。